

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年九月度 入選句（投稿総数千三百二十六句・小中学投句数七百九十八句）

特選

選者 長町 誠司

甲子園カメラに映る赤トンボ 加茂郡川辺町 渡邊 心太朗(中二)

球児らを中継するカメラに、つい映り込んだ赤とんぼ。その瞬間をうまく捉えた一句。
素早く動き、ぴたと止まる蜻蛉の動作は、打球を追って素早く落下地点に入る外野手や強打に素早く反応し、体の中心でボールをさばく内野手の動きに似ています。さらに、「赤とんぼ」という語のもつ透明感が、高校球児から感じられる純朴さやひたむきさと呼応し、よりノスタルジックな感覚を醸し出しています。

お月見のだんごで九九のよしゅうした 大垣市 渡部 美馨(小二)

小学校二年生の作者です。お月見のだんごを九九の予習に利用するなんて、なんと素敵なことでしよう。一年生では、同じ大きさのものの集まりを数えたりして掛算へと繋がる素地を経験していますが、二年生では「同じ大きさの集まり」に着目し、それが「いくつ」あるのかを意識させます。「だんご」なら串を使ったのかもしれませんが。何れにしてもこんな予習方法なら、ばつちり頭に入るはずです。どうせ勉強するのなら、楽しく美味しくが効果絶大です。さらに「季語」も覚わり、特選をもらうなんて、一挙兩得×二の成果ですね。

ざりがにをのぞくとぼくにブイサイン 大垣市 八百はら こう太(小二)

「ざりがに」のはきみの魅力は飼育してみるとよくわかります。「ざりがに」の威嚇を自分に対するブイサインと捉えるなんて、とても素敵な感性です。生き物に特に愛情の目を注ぐ「小林一茶」という俳人を思い出してしまいました。
ところで、「ざりがに」のハサミは再生するって知っていましたか。ハサミの左右の大きさが違う個体はその為なのです。片方のハサミが小さくても、懸命に生きている姿からは勇気をもらえますね。自然が大好きで、心が優しい作者です。

秀逸

ばあちゃんのくりきんとんが食べたいな 加茂郡川辺町 松山 篤志(中二)

雷光は進路を選び直進だ 加茂郡川辺町 藤井 憲迅(中三)

幸せの数だけ実るぶどうの実 加茂郡川辺町 新藤 真白(中三)

自転車こぎながら見るいわし雲 加茂郡川辺町 木下 仁唯南(中三)

ぐっぴーのかぞくがふえたなつやすみ 大垣市 もとかわ しいな(小二)

はたけのきゅうりかじるとかしゅつとおとがする 大垣市 山田 圭悟(小二)

はなびしてけむりのにおいでについた 大垣市 かわせ ひさ(小二)

はなびさん「パチパチ」なにかいっている 大垣市 坂 実乃璃(小三)

秋の川はっぱ一まいながれてく 大垣市 砂川 優奈(小四)

べん強のじゃまをしてくる秋のはえ 大垣市 林 りゅうき(小四)

入選

この暑さ本当に秋に変わるのか
親友がお守りがわりにくれた梨
ばあちゃんの大も大好きさつまいも
せんぷうきまたらい年もよろしくね
夏の朝母になつたかぶと虫
いとことねいっしょに行つたはかまいり
夕立のうわさをすれば土砂降りだ
おひさまにままのひがさでかくれんぼ
ひやけしてふくをぬいでもきてるみたい
どろぼうがよなかにがさごそかぶとむし

大垣市 今井 愛子(中二)
加茂郡川辺町 榎田 雫(中三)
加茂郡川辺町 木下 和奏(中三)
大垣市 酒井 理緒(小四)
大垣市 島田 結衣(小四)
大垣市 井上 夢翔(小四)
大垣市 大谷 莉煌(小二)
大垣市 有村 希愛(小二)
大垣市 つちや なおき(小二)
大垣市 たにかわ とうま(小二)

入選

ひろいそらとんぼのめがねかりたいな
ねぐるしいママがとなりにいるせいだ
夏休みおふろでバタ足れんしゅうだ
じいちゃんのとマトをたべてげんきだす
どこにいたせみがとつぜんとびだした
こおろぎがねてもいいよとぼくさそう
まん月が徳山ダムを光らせる
木の実ふるようちえん児と目が合った
くりのいがさわったみたい予防接種
満月だわらつたママの顔みたい

大垣市 國枝 拓真(小二)
大垣市 たが ひろと(小二)
大垣市 田口 奏瑠(小二)
大垣市 やすだ ののか(小二)
大垣市 丹生 沙良(小二)
大垣市 伊藤 晟冨(小二)
大垣市 永田 倅大(小四)
大垣市 渡部 航(小四)
大垣市 松岡 真澄(小四)
大垣市 傍島 快斗(小四)

選者吟

まだ焼ける音する秋刀魚食べ始む

せいじ